

第57回日本水環境学会セミナーのご案内
「微量化学物質による水環境問題の最新動向」

日々新たに生み出される化学物質、この中には水環境への脅威となるリスクをはらんだものもあります。微量に水環境中で検出される多種多様な化学物質について、どの様に対処していけばよいのか。多面的な理解に資するよう、その基本的な考え方、リスク評価、分析、処理、新たな評価法である全排水毒性(WET)試験まで、様々な角度から解説していただきます。

主 催 (社)日本水環境学会

期 日 2012年1月26日(木) 9:55-16:45

場 所 自動車会館大会議室(東京都千代田区九段南4-8-13)

参加費 会員7,000円、学生会員3,000円、非会員15,000円、学生非会員4,000円

定 員 先着160名

申し込み方法 FAX、E-mail、またはハガキに①参加者氏名(フリガナ)、②会員・非会員の別、③会員の場合は会員番号、④連絡先(所属団体名、住所および電話・FAX番号)をご記入の上、下記宛てお申し込み下さい、また、参加費を1月20日までにお振り込み下さい。入金を確認後、参加証(ハガキ)をお送りいたします。

参加費振込先： 三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店 (普通) 0754950
(社)日本水環境学会セミナー口
ｼﾞｬﾝﾎﾝﾐｽﾞｶﾝｷョウｶﾞｯｶｲセﾐﾅｰｸﾞﾝ

申し込み・問い合わせ先：

(社)日本水環境学会 セミナー係

(E-mail: yamamoto@jswe.or.jp)

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ 深川常盤201号

Tel. 03-3632-5351

Fax. 03-3632-5352

プログラム

9：20－9：55 受付
9：55－10：00 開会の挨拶

10：00－11：05 微量化学物質による水環境問題とは？～内分泌かく乱物質から医薬品まで～

京都大学大学院工学研究科附属流域圏総合環境質研究センター 田中 宏明

微量化学物質による水環境問題の歴史を振り返りながら、微量化学物質はなぜ問題なのか、また時代とともに対象物質はどのように変遷してきたのか、今後どのような問題が起こりうるのか、どのように対処すべきなのか、水環境中の検出状況などについて述べていただきます。

11：10－12：15 微量化学物質によるリスク評価の考え方

(独)産業技術総合研究所安全科学研究部門 内藤 航

リスク評価の考え方を微量化学物質（1，4-ジオキサン、ビスフェノールA、その他産総研Gのリスク評価書として出版されている微量化学物質）を例として解説いただきます。

～昼休み～

13：15－14：20 新規微量化学物質の分析法開発

北九州市立大学国際環境工学部 門上 希和夫

微量化学物質の分析に関して、これまでの経験、分析のノウハウ、分析法開発時の考え方等について、地方環境研究所で開発した分析法や現在取り組んでいる1000種の化学物質一斉分析法などを交えて講演いただきます。

14：25－15：30 微量化学物質の分解・無害化技術の最新動向～有機フッ素化合物を例として

神奈川大学理学部 堀 久男

処理技術の開発が喫緊の課題となっている微量化学物質を対象として、その処理技術開発の最新動向を報告いただきます。

15：35－16：40 微量多成分複合影響の評価方法としての全排水毒性(WET)試験

(独)国立環境研究所環境リスク研究センター 鏑迫 典久

多成分の微量化学物質が混在した排水を総合的に評価する方法として、WET試験の活用事例について最新動向を紹介していただき、今後のWET試験の水環境保全における位置づけ等、現在議論されている動向について講演いただきます。

16：40－16：45 閉会挨拶

※ 講師の都合等で一部変更となる場合があります。